



航空機旅客による密輸入事犯の大口化

～令和6年上半期の成田国際空港における関税法違反事件の取締り状況～

令和6年上半期に摘発した不正薬物（※1）の密輸入事犯は、摘発件数32件（前年同期比約62%減）、押収量約151kg（※2）（同約5%減）であった。

内訳は、覚醒剤13件（同約77%減）/約110kg（同約21%減）、大麻5件（同100%）/約7kg（同約784倍）、麻薬14件（同約33%減）/約34kg（同約1.6倍）であった。

金地金等密輸入事犯の摘発件数は123件（前年同期比約1.9倍）、押収量は約219Kg（同約6.3倍）であった。

※主な特徴

- 航空機旅客による覚醒剤密輸入手口の大口化
- 結晶状、粉末状のMDMA密輸入の増加
- 航空機旅客による金地金等の密輸入の大幅な増加
- ☞上半期で令和5年全体を上回る件数及び重量

（※1）覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

資料「成田国際空港における密輸入事犯摘発状況一覧表」参照。

（※2）重量等未確定につき含まれないものがある。個々の押収量についても同様。

1. 成田国際空港における密輸入事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年		令和6年 (1-6月)	
					1-6月		前年比(1-6月)	
覚醒剤	件数	14	11	52	82	57	13	23%
	押収量(kg)	83	84	161	451	138	110	79%
	押収量(千錠)	0	-	-	-	-	-	-
大麻 (樹脂等含む)	件数	17	6	14	17	5	5	100%
	押収量(kg)	9	21	1	86	0	7	784倍
あへん	件数	0	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-	-
麻薬	件数	7	7	15	43	21	14	67%
	押収量(千錠)	-	0	2	15	0	-	全減
	押収量(kg)	11	3	24	43	21	34	163%
ヘロイン	件数	0	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-	-
コカイン	件数	6	3	8	32	17	8	47%
	押収量(kg)	11	1	20	33	21	15	73%
MDMA	件数	0	1	4	6	2	4	200%
	押収量(千錠)	-	0	2	15	0	-	全減
	押収量(kg)	-	-	0	9	0	18	14582倍
その他麻薬	件数	1	3	3	5	2	2	100%
	押収量(千錠)	-	-	-	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	2	4	1	-	0	全増
向精神薬	件数	0	0	0	1	1	0	全減
	押収量(千錠)	-	-	-	0	0	-	全減
	押収量(kg)	-	-	-	-	0	-	全減
指定薬物	件数	1	1	7	0	0	0	-
	押収量(kg)	0	0	1	-	-	-	-
合計	件数	39	25	88	143	84	32	38%
	押収量(kg)	103	108	186	580	159	151	95%
	押収量(千錠)	0	0	2	15	17	-	全減

銃砲類	件数	0	0	0	0	0	0	-
	押収量(丁)	-	-	-	-	-	-	-

* 1. 重量は、小数点以下を四捨五入した

2. 薬物の数量表記(押収量)について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

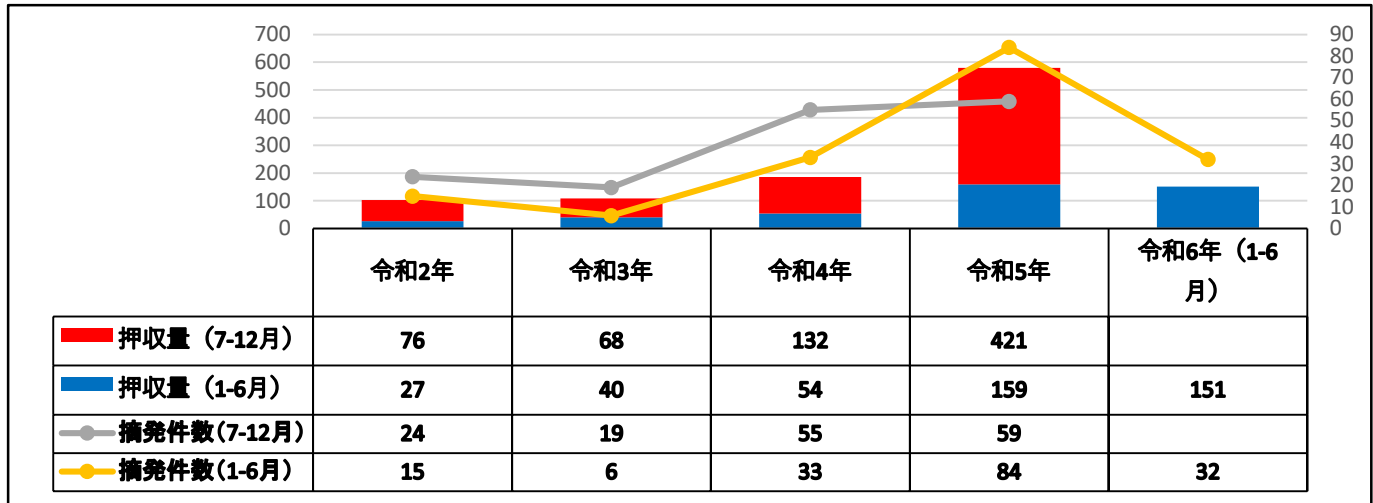
3. 令和5年及び6年の数値は速報値である。

2. 不正薬物摘発実績(令和2年から令和6年上半期(1月～6月))

●摘発件数・押収量

押収量：Kg

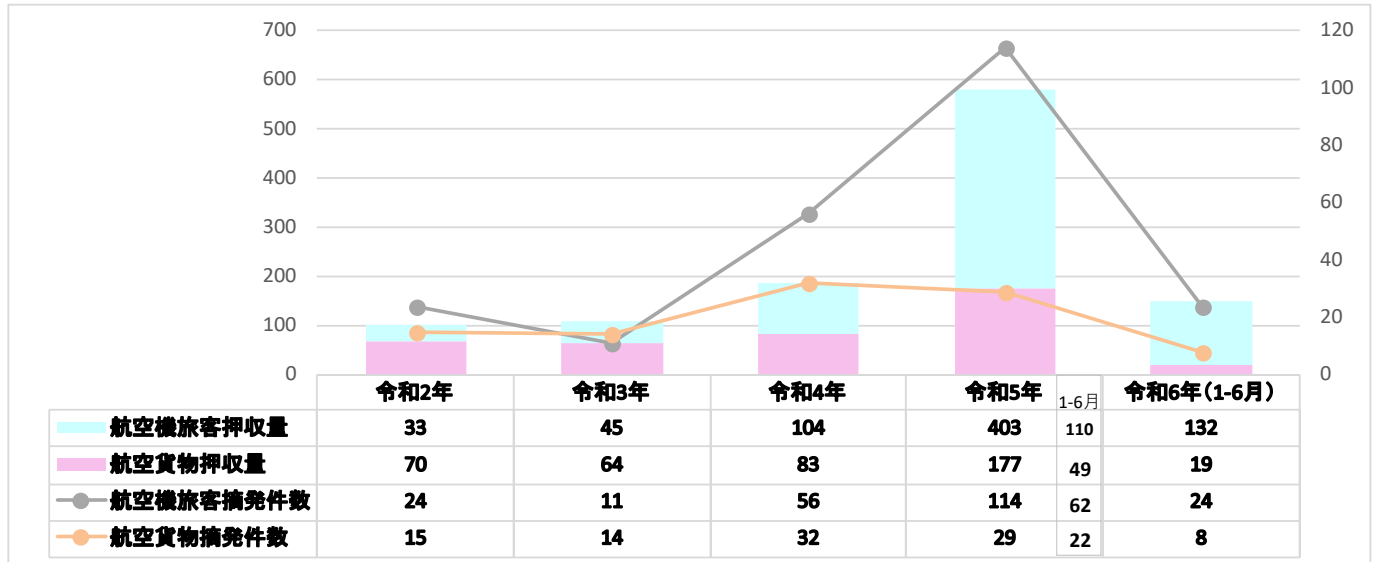
摘発件数：件



●形態別摘発実績

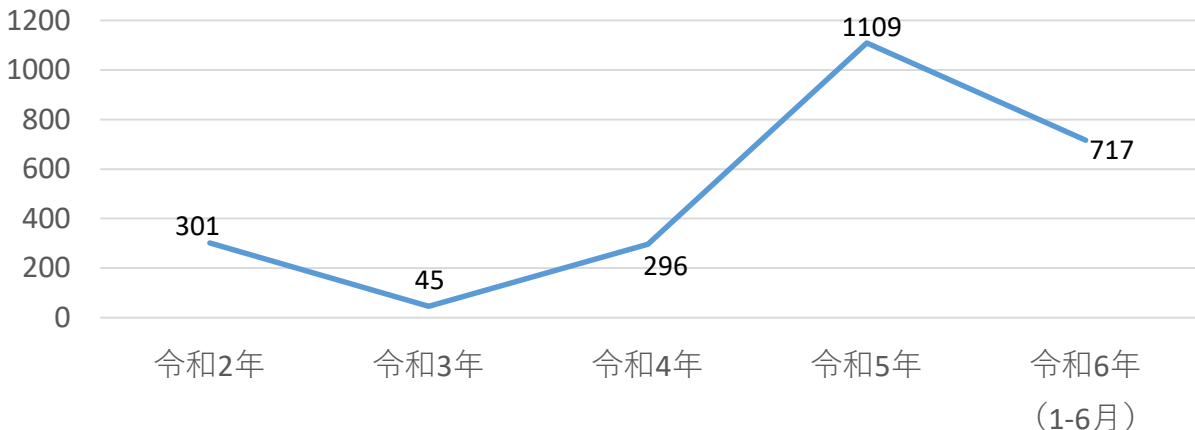
押収量：Kg

摘発件数：件



【参考】成田空港入国者数の推移(令和2年から令和6年上半期(1月～6月))

入国者数：万人



(出典：出入国在留管理庁出入国管理資料)

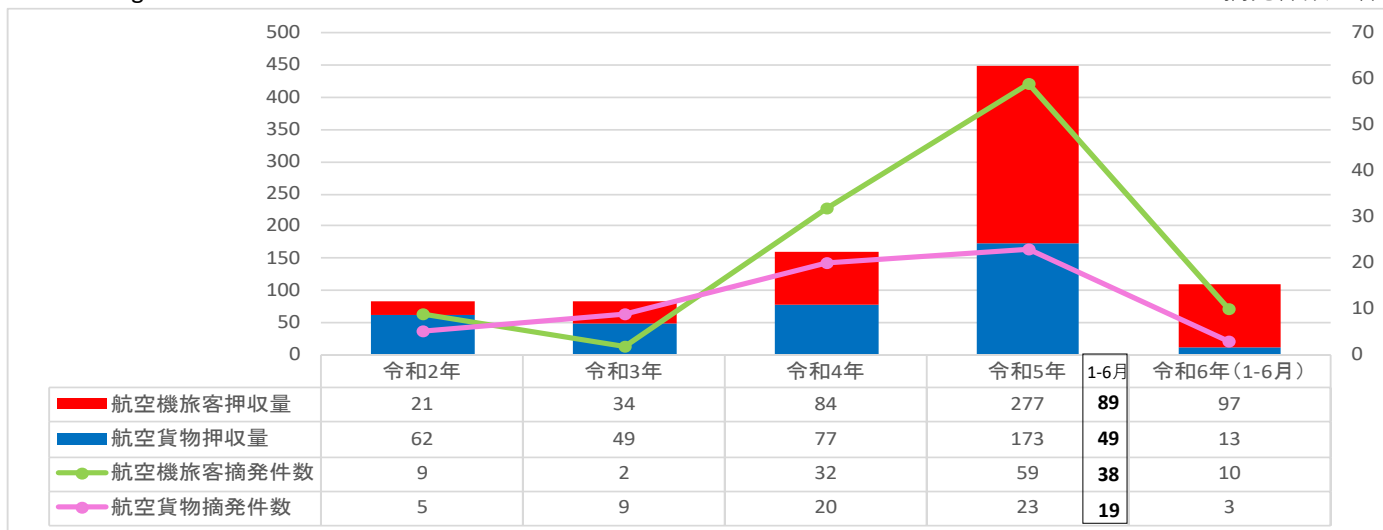
(1) 覚醒剤の摘発状況

- ◆密輸形態別では、航空機旅客による摘発件数は10件（前年同期比約74%減）、押収量は約97kg（同約1.1倍）であり、航空貨物による摘発件数は3件（同約84%減）、押収量は約13kg（同約73%減）であった。
- ◆覚醒剤の仕出地は、北米地域で7件を占め、押収量は、北米地域で約75%を占めている。

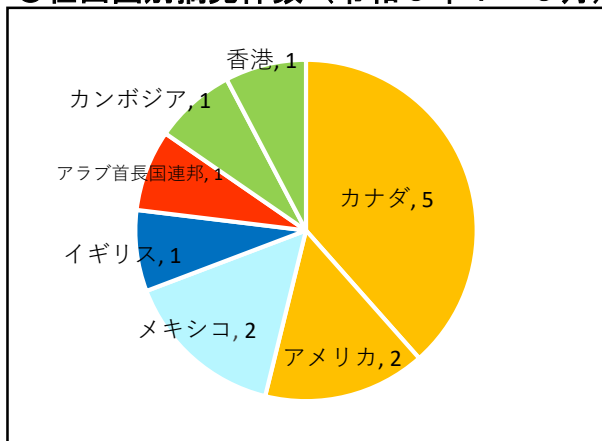
●形態別摘発実績

押収量：Kg

摘発件数：件

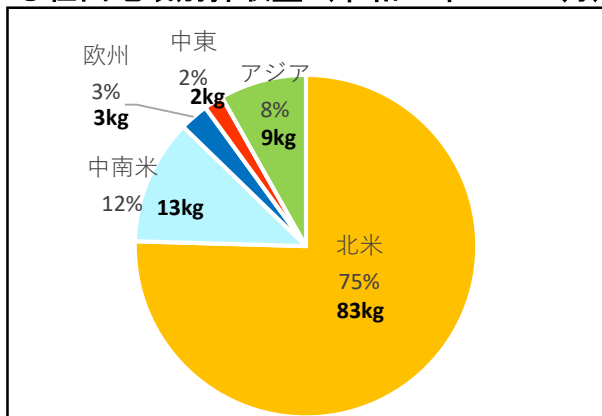


●仕出国別摘発件数（令和6年1～6月）



地域	国	件数
北米 (2か国・7件)	カナダ	5
	アメリカ	2
中南米 (1か国・2件)	メキシコ	2
欧州 (1か国・1件)	イギリス	1
中東 (1か国・1件)	アラブ首長国連邦	1
アジア (2か国・2件)	カンボジア	1
	香港	1
合計		13件

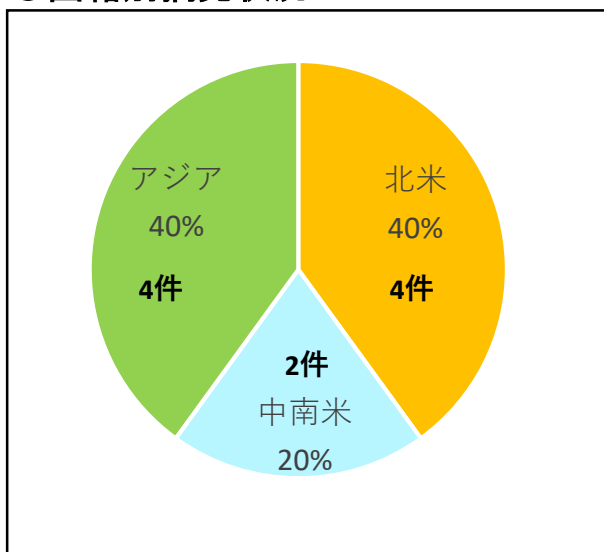
●仕出地域別押収量（令和6年1～6月）



地域	国	重量 (kg)
北米 (2か国・83kg)	カナダ	72
	アメリカ	11
中南米 (1か国・13kg)	メキシコ	13
欧州 (1か国・3kg)	イギリス	3
中東 (1か国・2kg)	アラブ首長国連邦	2
アジア (2か国・9kg)	カンボジア	6
	香港	3
合計		110kg

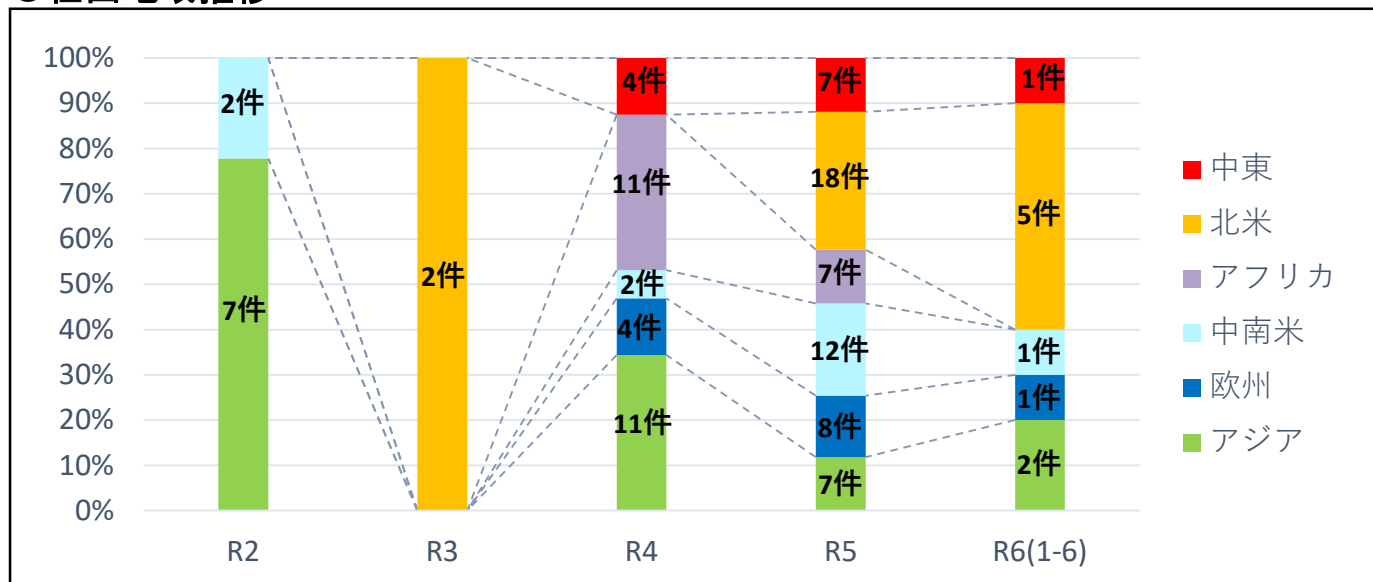
(1) 覚醒剤の摘発状況(航空機旅客編)

● 国籍別摘発状況

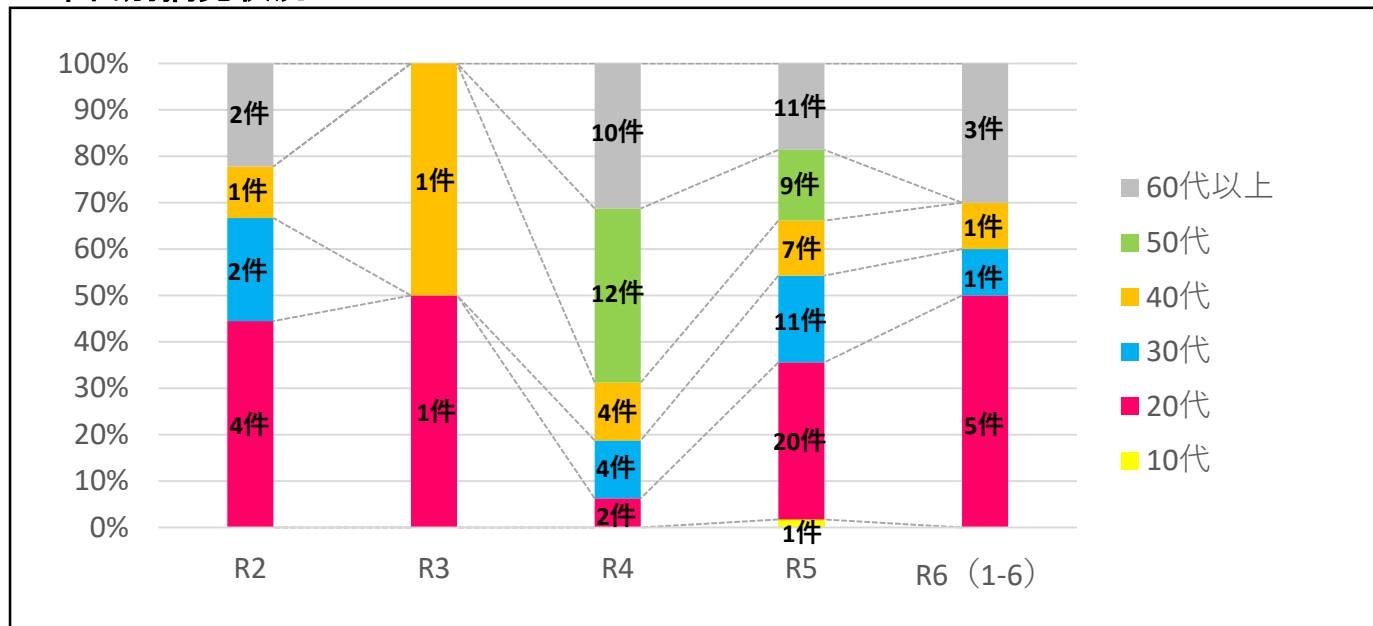


地域	国籍等	件数
北米 (2か国・4件)	カナダ	3
	アメリカ	1
中南米 (2か国・2件)	メキシコ・ブラジル	各1
アジア (3か国・4件)	日本	2
	台湾・香港	各1
合計		10件

● 仕出地域推移



● 年代別摘発状況



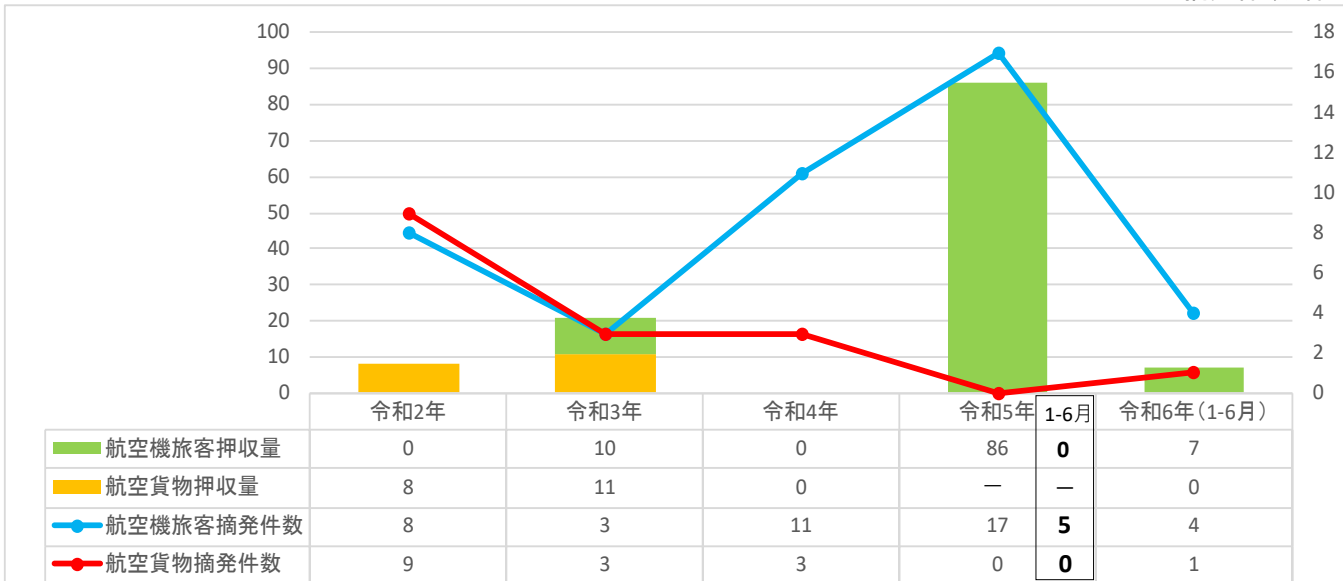
(2)大麻の摘発状況

- ◆密輸形態別では、航空機旅客による摘発件数が4件（前年同期比約20%減）であり、航空貨物による摘発件数が1件（同全増）であった。
- ◆隠匿手口は、食料品のアルミ製袋内に隠匿し、食料品として偽装工作する手口が見られた。

●形態別摘発実績

押収量: Kg

摘発件数: 件



上図において、押収量「0」については、押収量が500グラム未満であることを示す。また、押収量「—」については、実績がないことを示す。

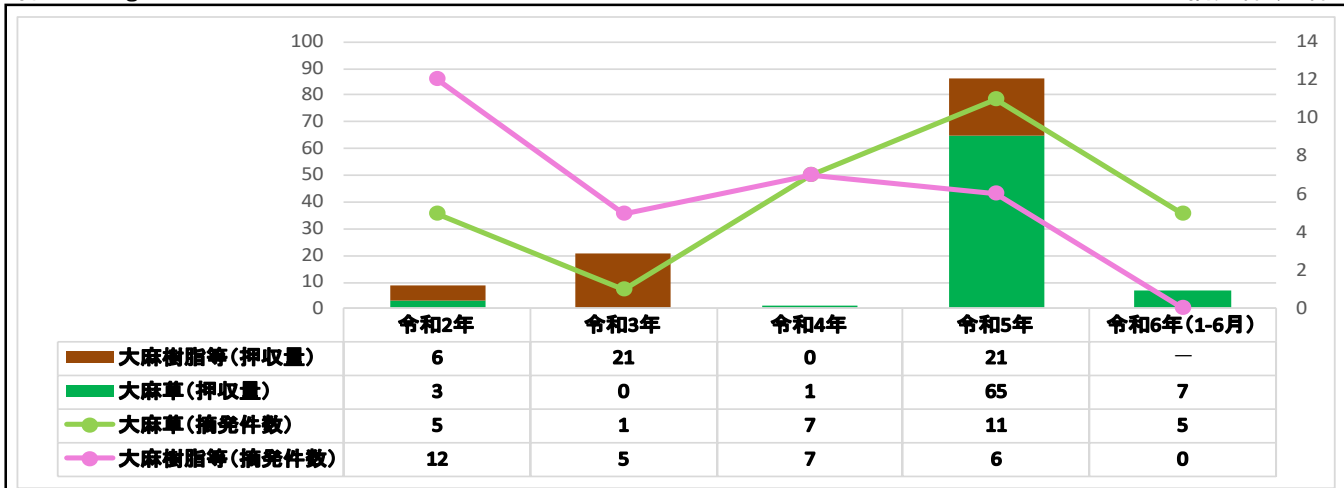
●種別摘発状況

種 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 (1-6月)
大麻草	件 数	5	1	7	11	5
	押収量 (kg)	3	0	1	65	7
大麻樹脂等	件 数	12	5	7	6	0
	押収量 (kg)	6	21	0	21	—

※大麻樹脂等については、大麻リキッド等の大麻製品を含む

押収量: Kg

摘発件数: 件



上図において、押収量「0」については、押収量が500グラム未満であることを示す。また、押収量「—」については、実績がないことを示す。

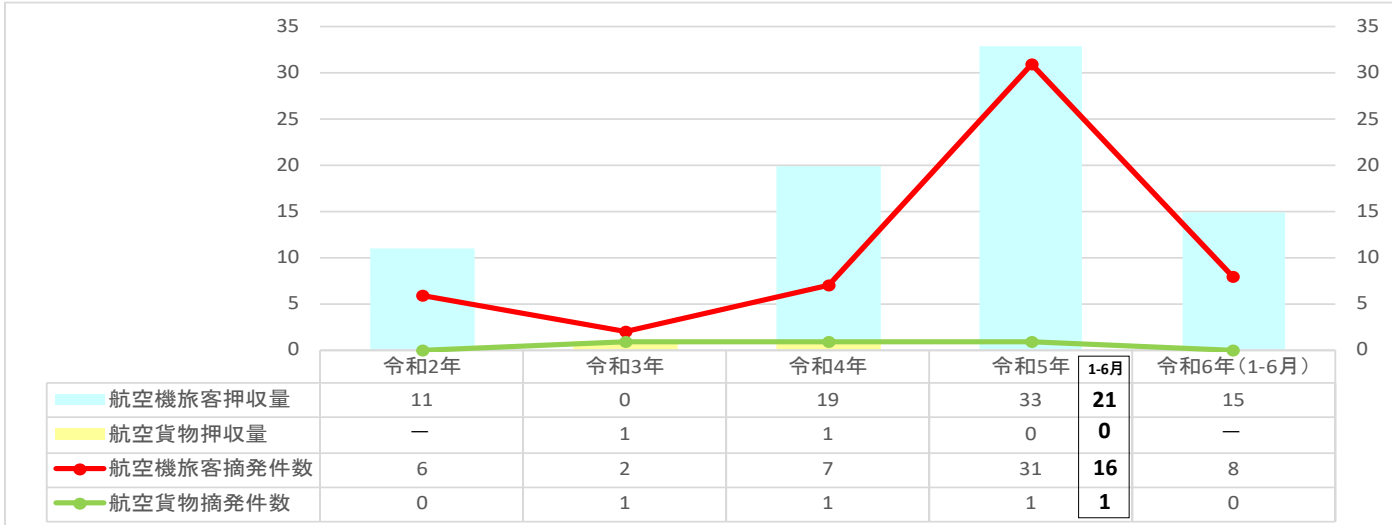
(3) 麻薬の摘発状況

- ◆コカインの摘発件数は8件（前年同期比約53%減）、押収量は15kg（同約27%減）であった。
- ◆MDMAの摘発件数は4件（同約2倍）、押収量は約18kg（同約1458倍）であった。
- ◆隠匿手口は、嚥下、身辺に巻き付け、スーツケース二重工作、食料品に偽装工作するなど巧妙なものが見受けられた。

●形態別摘発実績（コカイン）

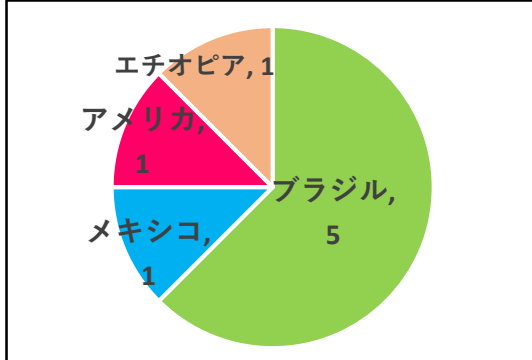
押収量:Kg

摘発件数:件



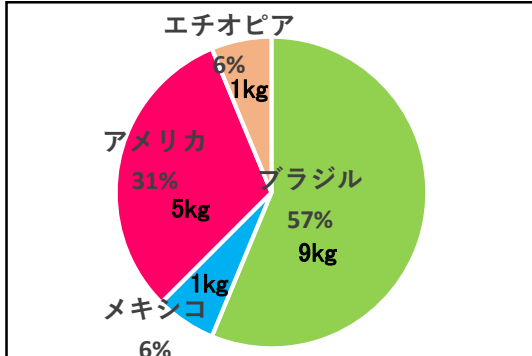
上図において、押収量「0」については、押収量が500グラム未満であることを示す。
また、押収量「—」については、実績がないことを示す。

●仕出国別摘発件数（コカイン）（令和6年1～6月）



地域	国	件数
中南米（2か国・6件）	ブラジル	5
	メキシコ	1
北米（1か国・1件）	アメリカ	1
アフリカ（1か国・1件）	エチオピア	1
合計：8件		

●仕出国別押収量（コカイン）（令和6年1～6月）



地域	国	重量 (kg)
中南米（2か国・6件）	ブラジル	9
	メキシコ	1
北米（1か国・1件）	アメリカ	5
アフリカ（1か国・1件）	エチオピア	1
合計：16kg		

上図押収量については端数処理を実施しているため、実際の押収量とズレがある。

3. 金地金等の摘発状況

- ◆金地金等の密輸入は令和6年上半期のみで、令和5年1年間の摘発件数を上回っている。
- ◆航空機旅客による密輸入は、身辺隠匿が多く、着用中のコルセットや下着の中、着用中の靴の中、スーツケースの支柱内に隠匿など巧妙な手口によるものが見受けられた。
- ◆粉状の金の密輸入が急増している。



形態別金地金等摘発実績

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年 (1-6)	
	件	kg	件	Kg	件	Kg	件	Kg	件	kg
航空機旅客	12	8	0	—	1	2	103	86	122	171
航空貨物	3	48	0	—	0	—	3	2	1	48
合計	15	56	0	—	1	2	106	87	123	219

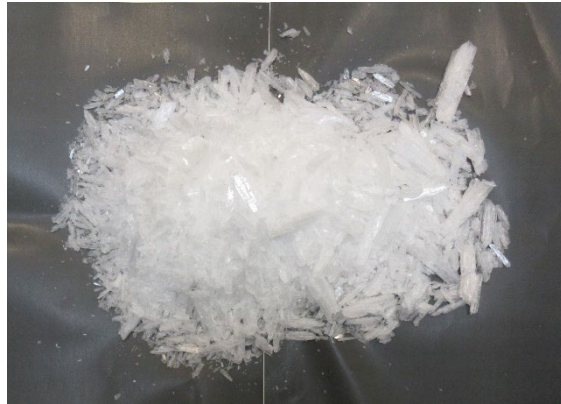
	令和5年 (1-6)		令和5年 (7-12)		令和6年 (1-6)	
	件	kg	件	Kg	件	kg
航空機旅客	63	35	40	50	122	171
航空貨物	0	—	3	2	1	48
合計	63	35	43	52	123	219

令和5年、令和6年は速報値である。
重量の表記について、「—」は全く無い場合を示す。
端数処理のため、数値が合わないことがある。

【覚醒剤密輸事犯の隠匿事例】

事例①・② 【カナダ来大量覚醒剤密輸事案】

⇒航空機旅客2名のスーツケースから、約37.6Kgの覚醒剤を摘発。（令和6年6月）



事例③ 【カンボジア王国来覚醒剤密輸事案】

⇒航空機旅客の身辺に巻き付ける等して隠匿していた約6Kgの覚醒剤を摘発。（令和6年1月）



事例④ 【メキシコ合衆国来覚醒剤密輸事案】

⇒航空貨物パレット（荷物を載せるための台）内に隠匿していた約11Kgの覚醒剤を摘発。（令和6年3月）



【大麻密輸事犯の隠匿事例】

事例【タイ王国来大麻密輸事案】

⇒ 航空機旅客のスーツケース等バッグ類から、約7Kg（14袋）の大麻草を摘発。
（令和6年2月）



【MDMA密輸事犯の隠匿事例】

【ベルギー王国来MDMA密輸事案】

⇒ 航空機旅客のスーツケースから、約11.9KgのMDMAを摘発。（令和6年6月）



【コカイン密輸事犯の隠匿事例】

事例①

【ブラジル連邦共和国来コカイン密輸事案】

⇒ 航空機旅客の身辺に巻き付け隠匿していた約5Kgのコカインを摘発。（令和6年1月）



事例②【メキシコ合衆国来コカイン密輸事案】

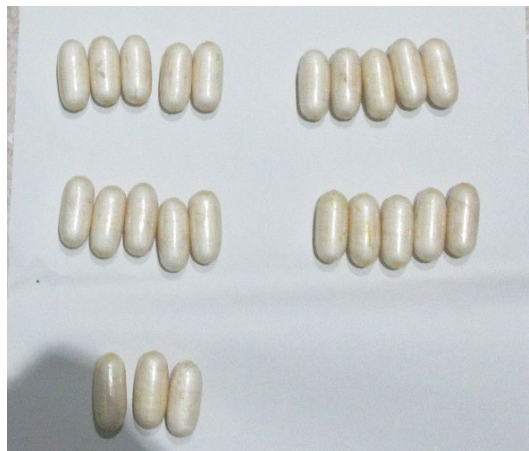
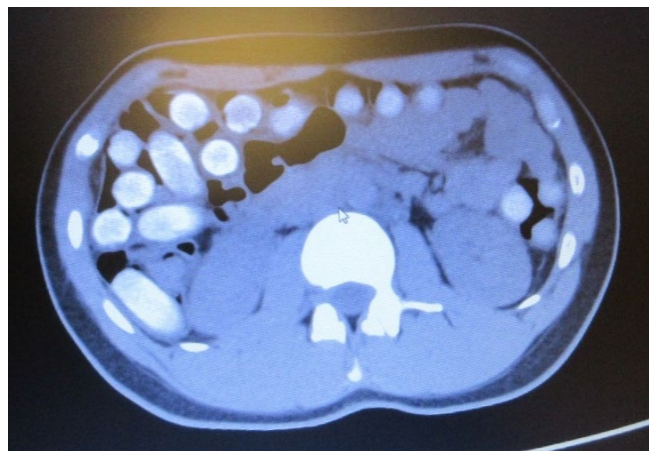
⇒ 航空機旅客のスーツケース二重底部分から、約1Kgのコカインを摘発。
（令和6年6月）



【嚥下隠匿事例】

事例①【ブラジル連邦共和国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客から、約0.9Kg（塊）のコカインを摘発。（令和6年2月）



事例②【エチオピア連邦民主共和国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客から、約0.5Kg（塊）のコカインを摘発。（令和6年3月）



事例③【ブラジル連邦共和国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客から、約1.1Kgのコカインを摘発。（嚥下隠匿＋体腔内隠匿）
（令和6年4月）



【嚥下隠匿分】

【体腔内隠匿分】

【金密輸の隠匿事例】

事例①

【マレーシア来金地金密輸事案】
⇒航空機旅客着用のコルセットから、金地金を摘発。（令和6年1月）



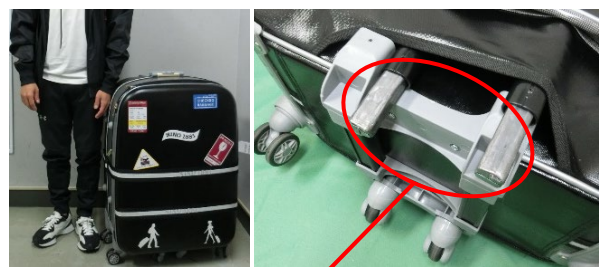
事例②

【中華人民共和国香港特别行政区来金密輸事案】
⇒航空機旅客の身辺から、アクセサリ状の金を摘発。（令和6年1月）



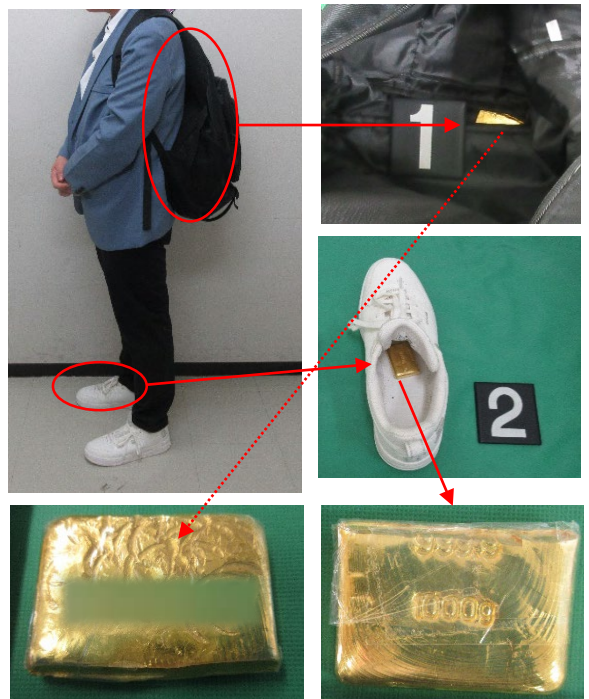
事例③

【台湾来金密輸事案】
⇒航空機旅客所持品のスーツケース支柱から、金を摘発。（令和6年4月）



事例④

【中華人民共和国香港特别行政区来金密輸事案】
⇒航空機旅客のリュックサック及び身辺から、切断された金地金を摘発。（令和6年4月）



【粉状金密輸の隠匿事例】

事例①,②,③【中華人民共和国香港特别行政区来金密輸事案】

⇒航空機旅客3名の身辺から、粉状に加工された金を摘発。（令和6年3月）

【事例①】



【事例②】



【事例③】



事例④,⑤【中華人民共和国香港特别行政区来金密輸事案】

⇒航空機旅客2名の着用中の靴から、粉状に加工された金を摘発。（令和6年6月）

【事例④】



【事例⑤】

